

2014夏休み企画展「文化財に親しもう！」ワークシート

学校名() 年 組

きのくにのあけぼの

番 氏名

教科書などでは...

旧石器時代

簡単なつくりの小屋や洞窟などに住み、打製石器を使って、動物の狩りや解体、木や骨の加工、木の実の調理などをして生活していた。

縄文時代

竪穴式住居に住み、磨製石器や縄目の文様の着いた土器を使い、主に狩りや漁、採集で暮らしを営んでいた。

弥生時代

農耕が始まり、調理、貯蔵、食器などの使い道に応じた土器や金属器を使うようになった。収穫した稲の穂を貯蔵する高床式倉庫なども造られた。

和歌山県では...

遺跡の分布図を比較して考えてみよう！

和歌山県下に人々が移り住んだのは、今から約3万年前です。多くの遺跡が発掘されています。それぞれの遺跡の分布図を比較して、自分で考えたことをまとめてみよう。
・ヒント 地形図(山や川の位置等)と比べてみよう。



自分で調べたり、博物館で聞いたりしてみよう！

土器の移り変わり

土器は文字のない時代の人々の生活と生活するための技術を語ってくれるものです。
土器が示す形・文様・製法等を比較して、生活や文化の変化を考えてみよう。

スタンプ押してね！

	縄文時代	弥生時代
形		
文様		
製法等		

比較してみて分かること

自分で調べたり、博物館で聞いたりしたこと

弥生時代の集落

吉田遺跡の復元模型を見てみよう！

弥生時代の集落は、水田に近い沖積平野の微高地や自然堤防上に営まれるようになりました。
そこでは稲作に欠かせない水の管理をするために、人々は水系ごとにまとまりのある集団を形成し、
共同で作業を行っていました。
また、後期には集落同士の戦いに対処するために、高地の上に集落を作ったり、周りに堀を巡らした環濠
集落など、防禦(ぼうぎょ)を目的とした集落も表れました。